

# 会報 危険物

会報 『危険物』 第18号  
発行 令和6年1月1日  
(毎年1回1月発行)

発行人 新潟県危険物安全協会  
小千谷地区支会  
支会長 和田 吉弘  
事務局 小千谷市消防本部  
予防課 危険物係

謹んで新年のお慶びを申し上げます

新潟県危険物安全協会小千谷地区支会  
支会長 和田 吉弘



令和5年度危険物安全週間推進標語

「意思つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ」

## 年頭のあいさつ



新潟県危険物安全協会

小千谷地区支会

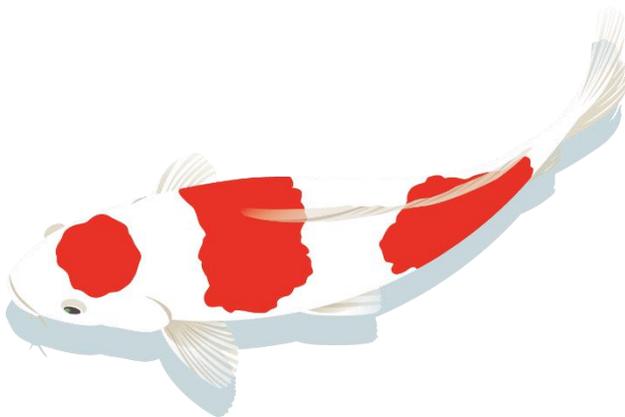
支会長 和田 吉弘

令和6年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、会員の皆様方におかれましては、当支会の事業運営におきまして平素より格別のご支援、ご協力を賜りここに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が5類となり、各種の祭りやイベントが通常の形で開催されるようになり、経済や社会生活に活気が戻って来た様に感じます。また、野球のWBCで日本代表チームが優勝し世界一に輝いたのをはじめ、サッカー、バスケットボール、バレーボール等の日本代表チームが世界大会で大活躍するなど、明るい話題がありました。そんな中、記録的な猛暑に見舞われ、農作物に大きな影響を与えましたが、当支会管内は猛暑の中でも会員の皆様方に、危険物管理・保安管理および取り扱いの周知徹底にご協力をいただいているおかげで、重大な事故等は発生しませんでした。引継ぎ安全管理、事故防止にご協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、本年の無事故・無災害と危険物安全協会小千谷地区支会の会員事業所の益々の発展と、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



## 新年のご挨拶



小千谷市消防本部

消防長 村山 博

(小千谷地区支会 顧問)

輝かしい令和6年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、平素から危険物に関する安全思想の普及をはじめ、危険物を取り扱う施設・設備等における自主的な保安体制の確立など多岐にわたる業務を通じて「安全・安心」の確保にご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、数々の大きな波となって猛威を振るっておりました新型コロナウイルス感染症も、昨年5月に感染症5類へと移行してからは、感染力の低下とともに世の中が徐々に落ち着きを取り戻し始めましたので、当地区支会事業につきましてはお陰様で順調に進行しているところであります。しかしながら、時代の流れはコロナ禍を機に働き方改革が進み、電子申請の導入やオンラインによる会議・講習の実施などデジタル化が一気に進展してまいりました。そのような中でも、危険物の保安管理においては人の力に頼るところが大きいのが実情であります。

危険物施設数においては、近年減少傾向にあるものの、日常の貯蔵・取扱いや運搬に起因する流出事故や火災などは依然として高い水準にあります。

ガソリンや灯油をはじめとする危険物は、豊かな社会生活を営む上でなくてはならないものであり、私たちにあって身近で重要な存在である一方で、その取扱いを誤りひとたび災害が発生した場合には、人命や財産などに甚大な被害を及ぼすだけでなく、自然環境や経済活動への影響も大きくなることから、その安全対策は極めて重要となります。

このため、当消防本部といたしましては、災害対策や危険物の流出事故防止対策など危険物施設での安全確保に向けた取り組みとして、危険物取扱者の試験前特別講習や保安講習において、資質向上に努めた講習を実施しているところであります。

引き続き、各種事業において危険物に関する安全思想の普及啓発を推進し、事故防止に向けた取り組みに努めてまいりますので、更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、危険物安全協会小千谷地区支会と会員事業所の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、また、本年が災害のない平穏で幸多き一年でありますことを祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

## 優良従事者 新潟県知事表彰

令和5年10月30日(月)、新潟市において第37回新潟県保安大会が開催され、支会長の和田吉弘氏が優良従事者として県知事表彰を授賞しました。

和田氏は、30年間にわたり危険物保安業務に従事し、高い保安意識のもと、日常点検励行及び計画的な施設改修を行い、法令を遵守し保安意識を高める姿勢は、他の模範となっていることから、表彰されました。



## 小千谷地区支会受験前特別講習会

令和5年8月30日(水)、小千谷市消防本部において「危険物取扱者(乙種第四類)試験受験前特別講習会」を開催し、15名が受講されました。今年度より講習会の日程を見直し、参加しやすいように、午前中で終了する講習となりました。令和6年度も開催いたしますので乙種第四類試験の受験の前には、多くの会員から受講いただきたいと思います。



## 移動タンク貯蔵所等の立入検査

令和5年11月7日(火)、小千谷警察署・小千谷市消防本部合同による移動タンク貯蔵所・危険物運搬車両の立入検査が、国道17号線三仏生地内の小千谷バイパスで実施されました。

立入検査の結果、違反事項はありませんでした。

危険物積載車両を所有する事業所は、違反事項のないよう日常点検の実施をお願いいたします。



## 県危安協主催の危険物取扱者保安講習会

令和5年10月17日(火)、サンラックおぢやにおいて新潟県危険物安全協会主催による危険物取扱者保安講習会が開催され、107名の方が受講されました。危険物の取り扱い作業に従事する危険物取扱者(免状保有者)は、保安講習の定期的な受講が義務となっておりますので、ご自身の受講期限を確認いただき、必ず期限内に受講されますようお願いいたします。

なお、令和6年度の小千谷開催予定日は10月17日(木)となっております。

### 【保安講習受講サイクル】

#### ○危険物取扱作業に従事している者

⇒ 受講後最初の4月1日を起算日として3年以内に受講。

#### ○新たに危険物取扱作業に従事する者で過去2年以内に免状の交付または講習を受けている者

⇒ 受講後最初の4月1日を起算日として3年以内に受講。

#### ○新たに危険物取扱作業に従事する者で免状の交付または講習を受けてから2年を経過している者

⇒ 従事することとなった日から1年以内に受講。



## 火災予防運動への協力

令和5年度の火災予防運動は、春は4月5日(水)に小千谷小学校新6年生2名が一日消防署長を務めました。当日は、児童2名がはしご車での管内の防火広報を実施し、本町では火災予防広報用のポケットティッシュ・防火チラシ等を、米岡副支会長と一緒に市民に配布しました。

秋は、「消防フェスティバル」から「わくわく消防教室」に事業名を変更し、新潟県から借用した起震車を保育園3園に持参し、先生が体験するところを園児に見学していただきました。また、消防車両展、煙体験、防災ダッククイズ、子供用防火衣装着体験を実施しました。

### 【春の火災予防運動】



### 【わくわく消防教室】



わくわく消防教室で訪問【すみれ保育園、西保育園、つくし幼稚園】

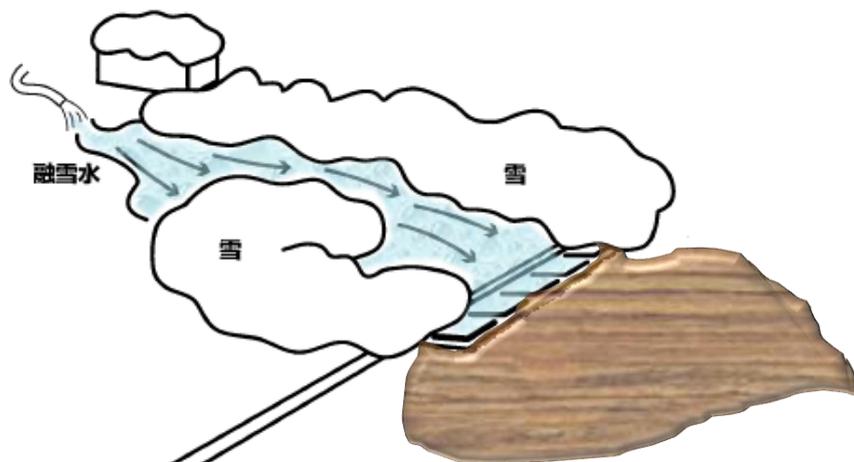
## 雪による事故に注意

### 給油取扱所内を除雪中に固定給油設備を破損



- ・配管等の施設が雪によって見えないことがある。
- ・降雪で視界不良となる場合がある。
- ・除雪作業は必ず**誘導員**を付ける。
- ・除雪作業は委託業者任せとしない。

### 油分離槽に多量の融雪水が流入し、溜まっていた油が流出



- ・積雪によりせき止められていた**多量の融雪水**が一気に油水分離槽に流れ込んだ。
- ・油水分離槽の排水能力を超えた分が溢れ、溜まっていた油が敷地外に流出した。

# リチウムイオン電池による事故が発生しています

## こんな事故が発生しています！

〈この5年で1,000件以上!!〉



### 1 モバイルバッテリー

実験映像は  
こちらから



発生状況

リコール対象製品のモバイルバッテリーにおいてバッテリーセルの内部への金属片の混入や電極板の不良などの不具合品があったため、内部ショートが生じて異常発熱し出火した。



バッテリー発火事故の再現



### 2 携帯用扇風機

実験映像は  
こちらから



発生状況

携帯用扇風機を落下させたことにより、バッテリー内部に強い衝撃が加わったことで異常発熱につながり出火した。



携帯用扇風機発火事故の再現



### 3 スマートフォン

実験映像は  
こちらから



発生状況

階段で足を滑らせてしりもちをつき、ズボンの後ろポケットに入れていたスマートフォンのバッテリーパックが破損したことで短絡を起こし、衣類に着火し火傷をした。



外部からの力により発火・燃焼したスマートフォン



### 4 ノートパソコン

実験映像は  
こちらから



発生状況

非純正品バッテリーに交換されていた中古品のノートパソコンをインターネットサイトで購入、充電中にバッテリーパックから出火し、周辺を焼損させた。



非純正品バッテリー搭載製品の発火事故の再現



### 5 ゴミ収集車

実験映像は  
こちらから



発生状況

一般ごみと一緒に捨てられたリチウムイオン電池がゴミ収集車内で押しつぶされて出火した。



ゴミ収集車車内の発火事故の再現

提供：製品評価技術基盤機構 nite

## 全国危険物安全協会 YouTube



危険物災害をなくすために——。  
全危協チャンネルでは危険物の正しい取り扱い方や、「危険物取扱者」の資格を持つ方々の活躍を発信していきます。チャンネルはこちらからご覧になれます→



# 令和4年中の危険物に係る事故の概要

## 1 概要（無許可施設、危険物施設以外除く）

危険物施設における火災及び流出事故件数は、平成6年の287件（火災113件、流出174件）から増加に転じ、平成19年以降は、高い水準で横ばいの状況が続いています。令和4年中（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の事故件数については、火災事故が226件（前年224件）、流出事故が415件（前年422件）となっており、重大事故については、火災事故が10件（前年12件）、流出事故が11件（前年8件）となっています。

また、許可施設、危険物運搬中等の危険物施設以外での事故は19件（前年21件）であり、その内訳は、火災事故が6件（前年8件）、流出事故が13件（前年13件）となっています。

新潟県内の令和4年3月31日現在の危険物施設

（11,093施設）における事故件数は71件で、その他の事故32件が最も多く、次いで、流出事故30件、火災9件、となっており前年から26件増加しています。

## 2 火災事故（無許可施設、危険物施設以外除く）

火災件数226件を製造所等の別にみると、一般取扱所が152件で最も多く、次いで、給油取扱所で31件、製造所で29件の順で、被害は、死者2人（前年0人）、負傷者36人（前年36人）、損害額27億5,094万円（前年70億4,692万円）となっています。

発生原因については、人的要因が117件（51.8%）が最も高く、次いで、物的要因82件（36.3%）、その他27件（11.9%）の順となっています。

また、主な着火原因は、高温表面熱が42件（18.6%）で最も高く、次いで、静電気火花が38件（16.8%）、過熱着火が24件（10.6%）、電気火花が18件（8.0%）の順となっています。

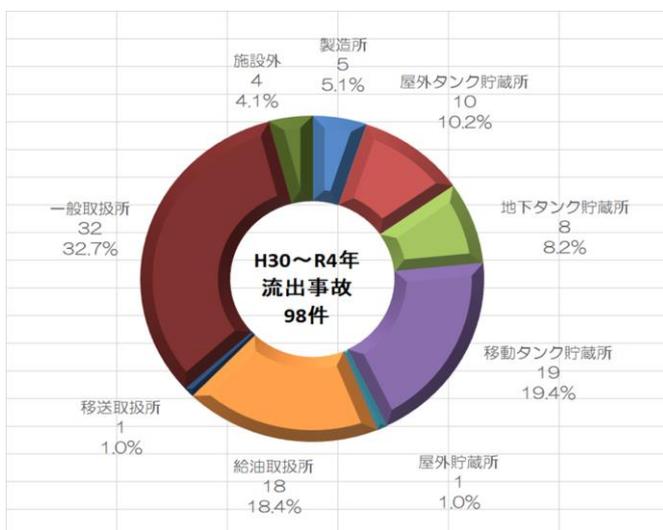
## 3 流出事故（無許可施設、危険物施設以外除く）

流出事故415件を製造所等の別にみると、一般取扱所が121件で最も多く、次いで、屋外タンク貯蔵所で78件、給油取扱所で63件、移動タンク貯蔵所で55件の順で、被害は、負傷者18人（前年28人）、損害額5億6,638万円（前年4億7,673万）となっています。流出事故で流出した危険物のほとんどが第4類の危険物であり、その事故件数は404件（97.3%）となっています。これを危険物の品名別にみると、第2石油類が147件（36.4%）で最も多く、次いで、第3石油類が125件（30.9%）、第1石油類が95件（23.5%）の順となっています。

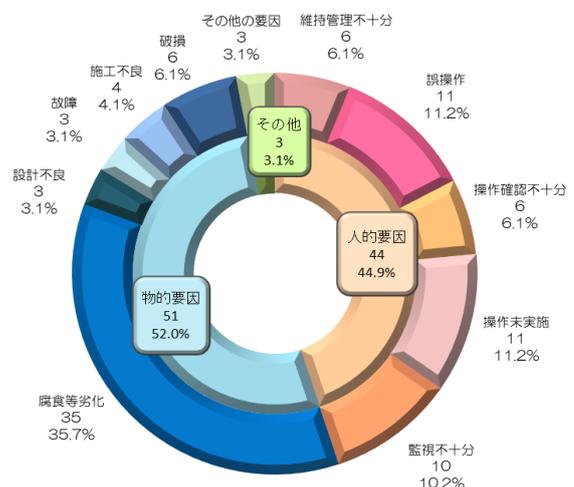
発生原因については、物的要因が232件（55.9%）で最も高く、次いで、人的要因149件（35.3%）、その他の要因45件（10.8%）となっており、個別にみると、腐食疲労等劣化によるものが127件（30.6%）で最も高く、次いで、操作確認不十分が57件（13.7%）、破損が46件（11.1%）の順になっています。

新潟県内の平成30年～令和4年の5年間の流出事故98件を発生要因別にみると、物的要因が51件（52.0%）、と最も高く、次いで、人的要因が44件（44.9%）となっています。物的要因の内訳をみると腐食等劣化が35件（35.7%）と最も高く、物的要因に占める割合は約7割を占めています。人的要因の内訳をみると、誤操作と操作未実施が11件（11.2%）で最も多く、次いで、監視不十分が10件（10.2%）となっています。

県内の危険物施設別の流出事故



県内の流出事故発生原因



# お知らせ

## ◎ 令和6年度 危険物取扱者試験実施計画 (予定)

(一財)消防試験研究センター 新潟県支部

試験日	受付期間	試験の種類	試験実施地
6月1日(土)	4月11日(木)～4月26日(金)	全種類	新潟市、長岡市 上越市、三条市、 佐渡市
9月1日(日)	7月16日(火)～7月31日(水)	全種類	新潟市、長岡市 上越市
11月23日(土)	10月11日(金)～10月28日(月)	全種類	新潟市、長岡市 上越市
3月1日(土)	1月10日(金)～1月29日(水)	全種類	新潟市、長岡市 上越市

※1 令和6年度より、電子申請・書面申請の受付期間が統一されました。

※2 試験日については、現時点の予定です。受検を予定している場合は、主催団体が発表する日程を必ず確認してください。

## ◎ 令和6年度 危険物取扱者試験乙種第4類受験準備講習計画 (予定)

(公財)新潟県危険物安全協会

講習日	講習会場	定員	申込受付期間
4月26日(金) 1日講習	長岡新産管理センター	40名	3月29日(金) ～ 4月12日(金)
7月18日(木)～19日(金)	燕三条地場産センター メッセピア	40名	6月20日(木) ～ 7月7日(日)
7月25日(木)～26日(金)	十日町地場産センター クロス10	40名	6月27日(木) ～ 7月11日(木)
10月3日(木)～4日(金)	長岡新産管理センター	40名	9月5日(木) ～ 9月19日(木)
1月16日(木)～17日(金)	長岡新産管理センター	40名	12月23日(月) ～ 1月6日(月)

※1 講習時間

【2日間講習】1日目 午後1時30分～午後4時30分(物理/化学)

2日目 午前9時30分～午後4時30分(燃焼消火/性質等・関係法令)

【1日間講習】午前9時30分～午後6時30分(物理/化学・燃焼消火/性質等・関係法令)

※2 近隣で実施される講習会のみを掲載しています。

※3 講習日については、現時点の予定です。受講を予定している場合は、主催団体が発表する日程を必ず確認してください。

## ◎ 令和6年度危険物取扱者保安講習計画（対面式）（予定）

（公財）新潟県危険物安全協会

講習日	講習会場	講習種別		定員	受講申請 受付期間
		一般 (その他)	給油 取扱所		
7月16日(火)	長岡リリックホール	午前		280名	6月11日(火) ～ 6月25日(火)
		午後		280名	
7月24日(水)	三条市体育文化会館	午後	午前	各150名	6月19日(水) ～ 7月3日(水)
8月23日(金)	十日町地場産センター クロス10	午後		75名	7月19日(金) ～ 8月2日(金)
9月6日(金)	長岡リリックホール	午後		280名	8月2日(金) ～ 8月16日(金)
<u>10月17日(木)</u>	<u>小千谷市総合福祉センター サンラックおぢや</u>	午後		<u>120名</u>	<u>9月12日(木)</u> <u>～ 9月26日(木)</u>
11月14日(木)	三条市体育文化会館	午後		150名	10月10日(木) ～ 10月24日(木)

※1 受付及び講習時間

【午前の講習】受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分

【午後の講習】受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

※2 近隣で実施される講習会のみを掲載しています。

※3 講習日については、現時点の予定です。受講を予定している場合は、主催団体が発表する日程を必ず確認してください。

## ◎ 令和6年度危険物取扱者保安講習計画（オンライン）（予定）

（公財）新潟県危険物安全協会

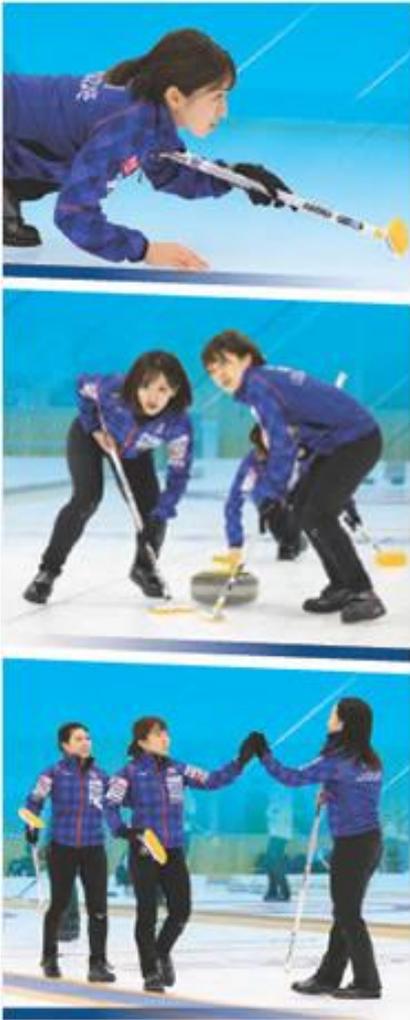
講習月	講習方法	講習種別	定員	申請期間	備考
9月講習	オンライン	一般 給油取扱所 コンビナート	200	事前登録 7月1日(月) ～7月16日(火) 本申請 8月1日(木) ～8月19日(月)	※ 定員は一般講習、給油取扱所講習、コンビナート講習を合わせたものとなります。
10月講習			200		
11月講習			200		
12月講習			200		

※1 受講申請書提出後、オンライン講習から集合（対面式）講習への変更はできません。また、集合講習を申請された方もオンライン講習に変更はできませんので、ご注意ください。

☆ 当会報は、小千谷市消防本部のホームページ内にある「新潟県危険物安全協会小千谷地区支会」のサイトにも掲載しております。

～地震により被災された皆さまへ～  
この度の令和6年能登半島地震で被害に  
遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げ  
ます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よ  
りお祈り申し上げます。

会報 『危険物』 第18号  
編集 新潟県危険物安全協会  
小千谷地区支会 事務局  
小千谷市城内3丁目1番9号  
小千谷市消防本部予防課内  
TEL (0258) 83-0238 (直通)  
FAX (0258) 82-0209  
E-Mail syobou-yobou@city.ojiya.niigata.jp



意志つなぐ  
連携プレーで  
事故防ぐ

危険物災害  
をなくそう



女子ローリングチーム ロコソラーレ

©Loco Solare

石崎 翠美選手

吉田 知華選手

吉田 夕梨花選手

鈴木 夕麗選手

藤澤 五月選手

消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会

このポスターは、危険物安全協会新潟支部が制作しています。